

「これからの医療保険」

通常医療保険と言えば「入院保険金が1日 円出る」という感覚で加入されているケースがほとんどでしょう。また、定期保険・終身保険の特約として入院を付加されているケースもかなりあります。ただ、特にかなり前から加入されているケースでは、80歳または定期保険等の主契約が切れるタイミングで医療保障もなくなるものがあり、一生涯の保障という面では不十分なものがあります。税制上も今後介護医療保険分野の所得控除枠が増設される予定であり、その点も踏まえ一生涯保障されるプランへの切替を検討されてはいかがでしょうか？最近には特に原則実費払型の先進医療特約を付加することで、病気に対峙していくという考え方も普及しつつあり、この特約が比較的安価に付加できることから前向きに検討してみる価値はあると思います。この地域の医療環境が徐々に悪化していく中、最先端の医療とつながる事が出来、難しい病気を克服する可能性も大幅にアップするものと思われれます。ご自身並びにその周辺の大切な方を是非この特約を付加することで守ってあげて頂きたいと思います。これは企業においても同じです。企業の宝は従業員様です。在職中は会社で保険料を掛け、そして無事定年を迎えた方には退職金の一部として、名義を書き換えて生涯続く保険を持たせてあげる事が出来れば、企業側としてもその従業員様の貢献に報いる事が出来るのではないのでしょうか？私共もご一緒に応援します。